

いしかわ教弘

ISHIKAWAKYOKO

編集：公益財団法人 日本教育公務員弘済会石川支部
TEL 076-255-1461 / FAX 076-255-1486
〒920-0901 金沢市彦三町2丁目1番45号 むさしビル
発行：株式会社 石川教弘
TEL 076-255-1604 / FAX 076-255-1486
〒929-0901 金沢市彦三町2丁目1番45号 むさしビル
URL：<https://www.nikkkyoko.or.jp/company/ishikawa/index.html>



Not forget NOTO!

逆境の中の「瞬く光」、
やがて広がる「輝き」となれ！

先日、(公財)日教弘石川支部の今年度キャッチコピーにぴったり合致するものに出会う機会がありました。能登高等学校書道部による書道パフォーマンス作品！青い能登半島を背景にし、タテ3.5メートル、ヨコ5メートルのこの巨大作品！能登町役場のエントランスホールに掲げられています。全国からの「復興支援」に訪れている人々への感謝の念とともに、「復興再生」への力強い意志に満ちあふれる作品です。(ちなみに、「ありがとう」は屋敷校長先生の特別参加とのこと。)

新管理職の方々への記念品贈呈のため、また、義務教育最終学年生を対象とした奨学金給付という地域限定新規事業についての相談・説明のため、私、支部長堀も、この4～5月、奥能登2市2町の小中高校を10回以上、日帰り弾丸訪問する機会がありました。のと里山海道においても、249号線においても、まさに数珠つなぎの車列。いたるところに出現する段差・くぼみ・せり上がったマンホール。堀自身、「能登に向かう県内他県ナンバー」の1台となっておりました。そういった新たな日常に対して「涙が出る」生徒のやさしさ。「復興支援のステッカー/横断幕に勇気をもらおう」生徒の素直さ。そのダイナミックな筆さばきからほとばしる若者らしいエネルギー。

能登で生まれ育った子どもたちの豊かな感受性。そういったものが、この作品に垣間見えるのは私だけでしょうか。

「手をつなぎ/みんなで前を/向いて進む」という声高らかな宣言！今はまだ「瞬く光」であっても、いずれ必ずや「輝き」となる日がやってくる。「広がれ！！能登の今後に期待せずにはられません。能登が再び「輝き」を取り戻すその日まで、「Not forget NOTO!」「能登を忘れないで！」このメッセージの元、私たち(公財)日教弘石川支部は、小さくとも、長く永く能登復興を継続してサポートして参ります。教弘保険担当者ともども、私たちの活動・事業にご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。



(公財)日教弘石川支部の震災対応支援事業

義援金の手交

奥能登2市2町の県立5高校（輪島・飯田・門前・能登・穴水）・七尾特別支援学校2分校および公立37小中学校（義務教育学校を含む）へ、（公財）日教弘本部・石川支部からの義援金として、総額202万円を給付いたしました。「最終受益者は子どもたちである」という日教弘のメッセージに沿って、各学校のニーズに合った活用方法をお考えいた

ただれば、と願っております。なお、小中学校への義援金にしましては、4市町の教育長様のご厚意により、各市町ごと各教育長様に手交させていただきました。後日、各教育長様から当該37校の校長様に届くことになっております。微々たる額ではありますが、日教弘石川支部は学校現場に寄り添い続けます。



穴水高校 島崎校長



能登高校 屋敷校長



飯田高校 角校長



門前高校 中澤校長



輪島高校 平野校長



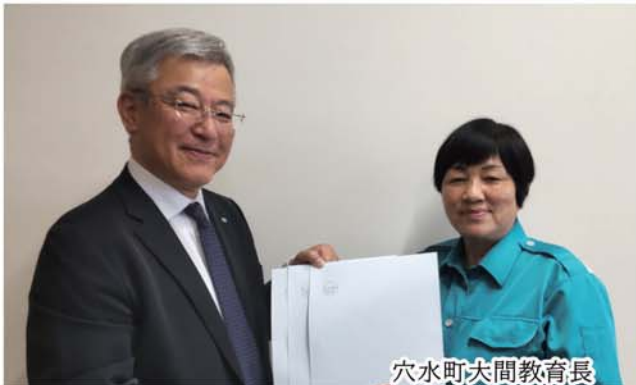
七尾特別支援学校 川井校長



輪島市小川教育長



珠洲市吉木教育長



穴水町大間教育長



能登町眞智教育長

公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称 日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に大きく貢献しています。

とある学校長のつぶやきから

4ヶ月経ても…

奥能登2市2町を訪問した際の出来事。地割れた駐車スペースやグラウンド、仮設のトイレ、飲料水のタンク等々を脇目につつ、校長室へ入室。室内に積まれた布団に「いまだ、ここで寝泊まりされているのか…」と言葉につまる。記念品贈呈や事業説明を終えた時、ある校長さんからいただいたコトバ。「堀さん、校舎の中も見ていきませんか？ご案内します。」正直、こちらから校舎内も見せてくださいと言える状況ではありませんでしたが、「堀さん、私たちは、忘れ去られるのが怖いです。だから、訪問して来た方々には『4ヶ月経ってもこうなんだ』というのを見てもらいたいです。」とつぶや

かれたのです。

一見すると無事のように見える職員室にひとり一人不在。「職員室は閉鎖中です。みな、あっちの部屋で執務しています。床がかたがっているんで。この部屋にただで酔ってしまうんです。」「ようやく避難所が閉鎖になったので体育館も使えるようになりました。でも、体育の授業直後に、気分が悪くなって保健室に駆け込むこどもが激増しています。体育館の床も微妙にかたがっているんです。」「この柱も、地震直後より、余震で傾きがひどくなっているんです。」「などなど…さすがに学校内部の様子は撮影する気にはなれませんでした。学校周辺の様子のごく一部、紹介します。奥能登のこどもたちにとっては、いまだ、こういった風景が日常の一部なのです。Not forget NOTO!!



2024(令和6)年度の役員(幹事・監査)と運営委員について

6月4日(火)に石川県地場産業振興センターにて、今年度の幹事会と運営委員会が開催されました。

幹事会は(公財)日教弘石川支部の事業・予算・決算等の審議を行う最高議決機関です。幹事・運営委員はオール教育界から選任するという本部指示により、幹事・運営委員は県内の各教育関係団体からご推薦いただいております。また、監査には専門の税理士に就任していただき、事業・予算

執行の厳格な監査をしてもらっています。

定例幹事会で14名の幹事と2名の監査及び12名の運営委員が選任されました。また、昨年度の事業並びに決算の承認もいただきました。さらに、幹事と運営委員からは貴重な意見を頂くことができました。今後の事業に繋げていきます。

(支部長)

【幹事・監査】

役職	氏名	所属団体
支部長	堀 義明	(公財)日本教育公務員弘済会
専任幹事	井波 充洋	(公財)日本教育公務員弘済会石川支部
幹事	橋川 弘嗣	石川県教育委員会(福利厚生室次長)
〃	濱田 貴宏	石川県小中学校長会(金沢市立額小学校)
〃	森 博之	石川県高等学校長協会(金沢錦丘高等学校)
〃	橘 広行	石川県教職員組合
〃	新明 宏	石川県高等学校教職員組合
〃	宮本 健司	石川県公立小中学校教育事務研究会(白山市立美川中学校)
〃	岩崎 浩二	石川県公立高等学校事務職員協会(明和特別支援学校)
〃	太田 徹	公立学校共済組合石川支部
〃	中村 雄次	(一財)石川県教職員互助会
〃	居村 恵子	石川県特別支援学校長会(医王特別支援学校)
〃	石尾 和彦	石川県高等学校教頭・副校長会(金沢二水高等学校)
〃	前川 健一	学識経験者(元中学校長)
監査	横野 涼英	税理士
〃	山岸 真里	元事務局長(金沢市教育委員会事務局学校職員課)

【運営委員】

氏名	所属団体
川瀧 昌美	石川県公立小中学校教育事務研究会(加賀市立錦城中学校)
磯上奈穂子	石川県公立小中学校教育事務研究会(かほく市立金津小学校)
谷内口良克	石川県公立小中学校教育事務研究会(輪島市立鳳至小学校)
宮岸 健一	石川県教職員組合(白山市立河内小学校)
劔村 亮太	石川県教職員組合(川北町立中島小学校)
盛田 直子	石川県教職員組合(金沢市立高尾台中学校)
米口 一彦	石川県高等学校長協会(小松高等学校)
樋上 哲也	石川県高等学校長協会(七尾高等学校)
松本 満彦	石川県公立高等学校事務職員協会(金沢二水高等学校)
鷹野 勝	石川県公立高等学校事務職員協会(金沢向陽高等学校)
谷内有由美	石川県公立高等学校事務職員協会(野々市明倫高等学校)
西村 博和	石川県高等学校教職員組合

公益財団法人日本教育公務員弘済会石川支部
令和5年度

事業報告

公益財団法人日本教育公務員弘済会石川支部は、青少年の健全な育成に資するため、「最終受益者は子どもたちである」ことを前提とした教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業及び教育文化事業)を行っています。また、教育関係者の福祉向上を図るために各種福祉事業も行っています。

教育振興事業

奨学事業

有為な人材育成を目指して、経済的な理由等により学資金の支払いが困難な学生・生徒に奨学金の貸与、給付を行っています。

●貸与奨学金

大学、短期大学、専門学校生を対象に奨学金を無利子で修学期間1年につき25万円、最高100万円を貸与。

- ・奨学生 16人に総額 1,450万円

●大学給付奨学金(予約型)

高等学校等の最終学年又は高等専門学校第3学年に在学し、全国の国公立大学に進学を目指す生徒に、一人に対し月額3万円、在学する大学の正規の最短就業期間(上限4年間)給付。

- ・奨学生 4人に総額 144万円

●給付奨学金

高等学校等に在学し、学資金の支払が困難な生徒に奨学金を給付。

- ・奨学生79人(1人10万円)に総額790万円の給付。
- ・第1次取組(募集期間6月～8月)で27人に270万円の給付。第2次取組(募集期間11月～1月)で52人に520万円の給付。

研究助成事業

教職員・学校及び教育団体の教育実践研究・活動に対して募集を行い、助成しました。

- 教育研究大会助成金として、12件、総額126万円を助成。
- 学校教育活動助成として、66校の学校教育活動に総額878万円を助成。
- 教職員・学校による教育実践研究論文を募集し、助成。
 - ・石川支部奨励賞
「学校部門」 1編×5万円



教育文化事業

中学校に教育図書の贈呈を行い、助成しました。6月の「教弘クラシックコンサート」は、好評のうちに実施することができました。また、遠隔地の児童・生徒がプロの生演奏を聴く機会となる「教弘ミニコンサート」も実施できました。

●教育図書の贈呈

各学校から選定された教育図書の贈呈。

中学校・特別支援学校 中学部 95校に 1,633冊 (3,734,523円)の教育図書を贈呈。

●第35回教弘クラシックコンサート

6月24日(土)石川県立音楽堂コンサートホールにて、オーケストラアンサンブル金沢がモーツァルトの名曲を優美に奏でました。来場者数約820人。

福祉事業

教弘保険加入会員に各種祝金(品)給付、宿泊補助、研究図書購入助成、健康増進補助等を行っています。また、日教弘が発行している「日教弘会員証」に付帯される全国共通の福利厚生サービスの紹介や利用促進も行っています。

給付実績は、1,571件(前年比60.1%減)の5,747,102円(前年比40.5%減)となりました。

●福祉給付

結婚祝金	46件	230,000円
出産祝金	70件	350,000円
入学祝金	172件	860,000円
30歳誕生祝金	50件	250,000円

●福祉補助

宿泊補助券	193件	579,000円
健康増進補助	97件	932,602円
研究図書購入補助	308件	1,536,000円
インフルエンザ接種補助	635件	1,009,500円

損害保険事業

代理店(株)石川教弘の委託事業として、現職教員に対する日常の損害賠償責任に加え、教職員特有の賠償責任に関する補償を提供。

- ・教弘まなびやスーパープラン
- ・教弘フルガード
- ・教職員収入ロングウェイサポート

※関心のある方は、石川支部までご連絡ください。